

〈理科〉 6年

「大田区学習効果測定」結果の分析

今年度の本校における平均正答率は、目標値を上回る結果となった。その内訳を見てみると基礎については4ポイント上回り、活用については3.7ポイント上回った。

- ・〈自然事象への関心・意欲・態度〉目標値を4.4ポイント上回った。「電流のはたらき」に課題がある。
- ・〈科学的な思考・表現〉目標値より2.9ポイント上回った。
- ・〈観察・実験の技能〉目標値より5.8ポイント上回った。
- ・〈自然事象についての知識・理解〉目標値より4.3ポイント上回った。

重点課題

〈自然事象への関心・意欲・態度〉

- ・自ら疑問や課題を立て、実験・観察を通して解決していく学習を構築できるようになることが課題である。

〈科学的な思考・表現〉

- ・問題に対して見通しをもって、多面的に追求していく力を付けていくことが課題である。
- ・観察・実験を生かしながら、自然の事物・現象の性質や働き、相互関係、規則性などに気付き自分の言葉で考察していくことが課題である。

〈観察・実験の技能〉

- ・実験器具の名称や正しい扱い方など、観察・実験の技能の定着化を図る必要がある。

〈自然事象についての知識・理解〉

- ・「ふりこのきまり」「物の溶け方」で確かな知識・理解の定着を図ることが課題である。

授業改善策

〈自然事象への関心・意欲・態度〉

- ・自然事象や現象の変化を知り、生活と結び付けて考えていけるようにする。日常の中で、自ら疑問や課題を見出せるような環境を整える。また、子どもたちの意見や話し合いの時間を充実させ、見通しをもった学習計画が立てられるようにしていく。
- ・事象と直接関われないものは、インターネットの映像やICT機器を活用し、そこから追究していけるようにする。

〈科学的な思考・表現〉

- ・一つの事象からどんなことが考えられるか、日常生活の中で考えていけるようにする。また、疑問に思ったことを授業の課題として追求していけるようにする。
- ・ノート作りを充実できるよう、観察・実験の結果を図や表・グラフなどを使って整理したり、考察を自分の言葉で書いたりして、表現していく力を育成する。

〈観察・実験の技能〉

- ・実験器具や薬品の扱い方を習得させ、安全で的確な実験が行えるようにする。
- ・観察・実験の方法を話し合い、条件制御しながら予想や仮説のもとに多面的に追求していく活動を多く取り入れる。

〈自然事象についての知識・理解〉

- ・事象とかかわる時間を十分にとり、自分で実験・観察する活動を通して、知識・理解を深める。
- ・話し合いの時間をとり、自分の考えと友達の考えから理解を深め、整理する。
- ・問題解決の過程を充実させることで「実感を伴った理解」を図る。特に自ら問題意識をもち見通しをもって観察・実験をする活動を重視していく。